

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成23年1月21日)

項 目	ページ
1 12月31日からの豪雪に係る農林水産業の被害状況について	【農政課】----- 別紙
2 12月31日からの豪雪に係る農林水産業の復旧対策について	【農政課】----- 別紙 【生産振興課】----- // 【畜産課】----- // 【森林・林業総室】----- // 【水産課】----- //
3 ロシア連邦ハバロフスク地方への鳥取県訪問団派遣結果について	【農政課】----- 1
4 農業者戸別所得補償制度について	【生産振興課】----- 3
5 鳥取和牛新ブランド発表会について	【畜産課】----- 6
6 第31回全国豊かな海づくり大会の準備状況について	【全国豊かな海づくり大会推進課】----- 7

農 林 水 産 部

ロシア連邦ハバロフスク地方への鳥取県訪問団派遣結果について

平成23年1月21日

交流推進課
農政課

ハバロフスク地方に訪問団（団長：河原正彦統轄監）を派遣し、友好交流の第1弾イベントとして、鳥取県農産物展示会やハバロフスク地方行政府等との意見交換等下記のとおり実施しました。

記

1 鳥取県農産物展示会の開催

(1) 日 時 12月15日(水) 午後1時～5時

12月16日(木) 午前10時～午後5時

(2) 場 所 ホテル「インツーリスト」(ロシア・ハバロフスク市内) バンケットルーム

(3) 主 催 鳥取県

(4) 実施内容

①農産物・農産加工品の試食・展示

・富有柿、あたご梨(環日本海定期貨客船を利用して運送)

・あんぽ柿、らっきょう漬、西瓜とまり漬、乳製品(サブレ、せんべい、あめ)

②鳥取県農産物及び観光PRパネル・ポスター展示、観光パンフレット配布、DBS定期航路PR

(5) 実施結果

○来場者数 一般消費者約200人、現地企業等4社

○来場者の主な感想

・試食・展示品すべて、美味しいと好評。

・特に富有柿とあんぽ柿は甘くて美味しいと好評。早くハバロフスクで売って欲しいという声も多く聞かれた。

・らっきょう漬は、ロシアの漬物(ピクルス)に似ており、馴染みのある味で、とても美味しいと好評。

・西瓜とまり漬は、初めて食べた味だが、美味しい。お酒のつまみにも合いそう。

・乳製品は子どもに好評。

・鳥取県産農産物の食の安全性に対する問い合わせもあった。

(6) 訪問団の所感等

①12月14日(火)にハバロフスク地方の地元報道機関(太平洋の星新聞社、極東国立テレビ・ラジオ放送局)を訪問し、同展示会事前告知及び観光PRを実施したため、多くの来場者を迎えることができた。

②買えないことを残念がる市民が多数おられ、国内商社が来年計画しているハバロフスクでの試験販売に期待がもてると確信できる試食・宣伝会となった。

2 カラシニコフ・ハバロフスク地方政府副長官兼経済担当大臣との協議

- (1) 日 時：12月17日（金）午前9時30分～10時20分
- (2) 場 所：ハバロフスク地方政府
- (3) 協議内容

平成22年11月中旬のシュポルト知事の来県及びその際署名された鳥取県とハバロフスク地方との友好交流に関する共同声明を踏まえ、鳥取県側より、当面の交流テーマ案として、(ア)医療交流、(イ)県農産物の試験販売、(ウ)ハバロフスク地方における「鳥取県の写真展&民芸品展」の実施、(エ)とっとり伝統芸能まつりへの招待、(オ)ハバロフスク地方からのマスコミ関係者招聘、(カ)スポーツ・文化・青少年の相互交流、(キ)行政間の情報交換・交流協議、両地域のホームページへの相互リンクを提案した。

これに対して、カラシニコフ大臣より、全て大変重要な交流案件であり、実現に向けて努力したいと述べるなど、今後の両地域の交流について精力的に協議していくこととなった。

3 ガマニユク・ハバロフスク地方政府副長官兼農業・食品大臣との協議

- (1) 日 時：12月17日（金）午前10時30分～11時10分
- (2) 場 所：ハバロフスク地方政府
- (3) 協議内容

ガマニユク大臣より、ハバロフスク市内での鳥取県農産物等見本市の開催、ハウス栽培、食肉牛の生産等、農業交流に関する提案があった。特に、イチゴのハウス栽培に高い関心があるので、鳥取県に農業専門家を派遣したい旨の発言があり、具体的な視察時期については両地域で今後調整していくことになった。

4 その他

ハバロフスク滞在中に、輸出に必要な商品認証の権限をもつ極東商工会議所を訪問し、県農産物の円滑なロシア向け輸出を始めとする両地域間の経済活動の活性化について協力要請を行うとともに、地元旅行会社を訪問し、鳥取県の観光PR、DBSクルーズフェリーの紹介等を行った。また、在ハバロフスク日本国総領事館、ハバロフスク日本センターを訪問し、両地域の交流の現状と方向性に関する説明、意見交換を行った。

【参考】鳥取県訪問団の構成

河原正彦統轄監、前田修商工労働部経済通商総室長、岡本康宏農林水産部次長他 4名



鳥取県農産物展示会



ハバロフスク地方行政政府経済担当大臣（中央写真）、農業・食品大臣（右写真）との協議



農業者戸別所得補償制度について

平成23年1月21日
生産振興課

平成23年度から、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、農業者戸別所得補償制度が実施され、その概要は以下のとおりです。

1 目的

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持する。

2 対象作物

- (1) 米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたね
- (2) 水田については、水田活用の所得補償交付金として、これに加えて、飼料作物、米粉用・飼料用米、WCS用稲、加工用米、地域特産物も対象

3 交付対象者

対象作物の生産数量目標に従って販売目的で生産（耕作）する販売農家・集落営農

4 事業内容

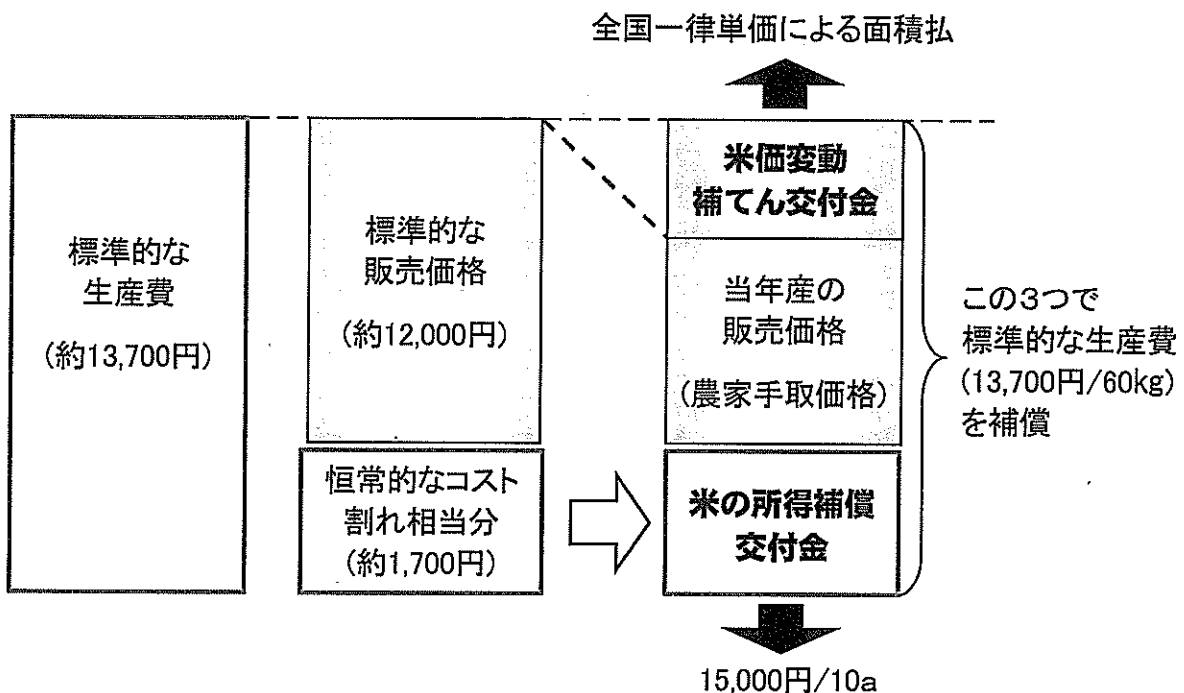
- (1) 米に対する助成 【生産数量目標を守った農業者が対象】

【米の所得補償交付金】(1,929億円)

1.5万円/10a

【米価変動補てん交付金】(1,391億円(24年度予算計上))

当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を補てん



(2) 水田活用の所得補償交付金(2, 284億円)【水田の活用による自給率向上】

【戦略作物助成】

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a
米粉用米、飼料用米、WCS用稲	8.0万円/10a
そば、なたね、加工用米	2.0万円/10a

【二毛作助成】 1.5万円/10a

【耕畜連携助成】 1.3万円/10a

【産地資金(予算枠481億円)】……鳥取県241百万円

地域の实情に即して、麦・大豆等の戦略作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援

(3) 畑作物の所得補償交付金(2, 123億円)【水田・畑地共通】

【数量払】

対象作物	交付金額	対象作物	交付金額
小麦【水田・畑地】	6,360円/60kg	てん菜	6,410円/ト
二条大麦【水田・畑地】	5,330円/50kg	でん粉原料用ばれいしよ	11,600円/ト
六条大麦【水田・畑地】	5,510円/50kg	そば【水田・畑地】	15,200円/45kg
はだか麦【水田・畑地】	7,620円/60kg	なたね【水田・畑地】	8,470円/60kg
大豆【水田・畑地】	11,310円/60kg		

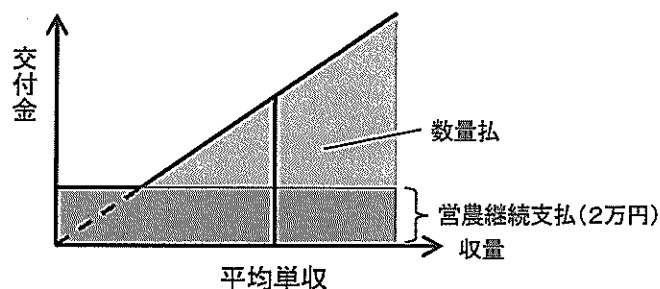
注1:小麦については、パン・中華めん用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算

注2:交付単価の10a当たりの面積換算値では、現行の品目横断対策に比べて、小麦は約3千円、大豆は約1万円の増額

【面積払(営業継続支払)】

前年産の生産面積に基づき交付 2.0万円/10a

<畑作物の所得補償交付金のイメージ>



(4) 加算措置等

ア 規模拡大加算

・農地利用集積円滑化事業により、面的集積(連坦化)した場合、利用権設定した面積に2万円/10aを交付

イ 品質加算

・畑作物について数量払の交付単価を品質に応じて増減

ウ 再生利用加算

・畑の耕作放棄地を解消し、麦、大豆、そば、なたねを作付けた場合に、一定額(2~3万円/10a)を最長5年間交付

エ 緑肥輪作加算

・畑地に地力の維持・向上につながる作物を栽培してすき込む場合(休閒緑肥)に1万円/10aを交付(北海道のみ)

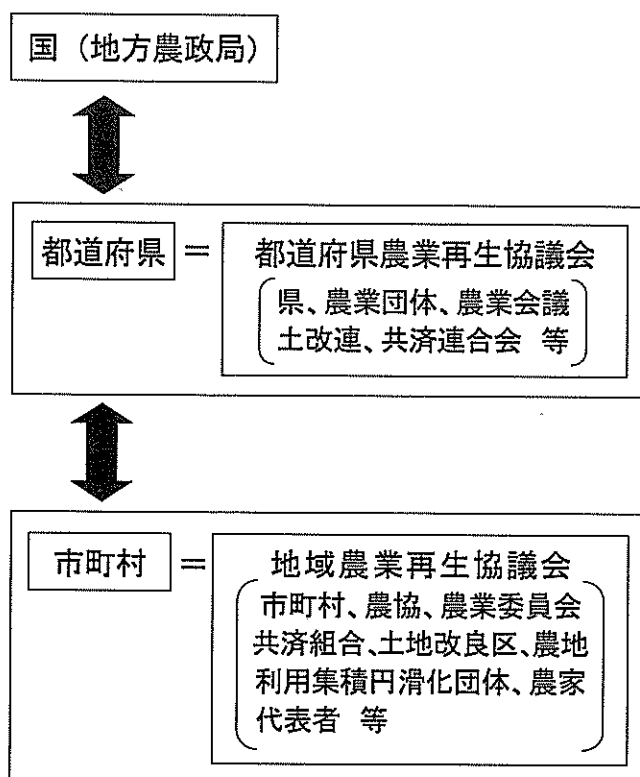
オ 集落営農の法人化支援

・集落営農が法人化した場合に、40万円を定額で交付

カ 推進事業等

・生産数量目標の設定や作付確認等を行う都道府県、市町村等に対して必要な経費を助成

5 推進体制



<国段階>

- ・農業者戸別所得補償制度の普及・推進活動
- ・直接支払に伴う内容審査、システム入力処理
- ・交付金の支払等

<都道府県段階>

- ・農業者戸別所得補償制度の普及・推進活動
- ・対象作物の生産数量目標の設定ルール等の検討
- ・産地資金の要件の検討
- ・集落営農の経理事務担当者等の育成
- ・農地集積、耕作放棄地の解消のための指導・助言等

<市町村段階>

- ・農業者戸別所得補償制度の普及・推進活動
- ・対象作物の農業者別生産数量目標の設定ルール等の検討
- ・農業者に対する説明、交付申請書や営農計画書等申請書類の配布・回収
- ・対象作物の作付面積等の確認
- ・農業者の作付面積等のデータ入力処理
- ・産地資金の要件の検討
- ・農地集積、耕作放棄地の解消のための推進活動
- ・集落営農の法人化支援等

6 スケジュール

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 12月21日（火） | 県水田営農推進協議会総会 |
| 12月28日（火） | 制度説明会（市町村、地域水田農業推進協議会、農業団体等） |
| 1月 | 産地資金活用方法の検討（県協議会、地域協議会） |
| 2月～ | 農家への周知（市町村、JA、県等） |
| 4月～6月 | 営農計画書等の提出（農家 → 地域協議会） |
| 8月～翌年6月 | 交付金の交付（国（農政局） → 農家） |

鳥取和牛新ブランド発表会について

平成23年1月21日
畜 産 課

1 鳥取和牛のリーディングブランド創出の経過

- 鳥取和牛のリーディングブランド化は、平成21年4月に策定した鳥取和牛ビジョンにおいて、既存ブランド鳥取和牛の付加価値を高め、和牛王国の復活を図るための重要な取り組みとして位置づけた。
- 平成22年度は「鳥取和牛おいしさ認定基準設定委員会」を設置し、リーディングブランドの認定基準を検討し、これまでの牛肉規格と異なるオレイン酸を指標とした鳥取県独自の認定基準として、「牛肉脂肪中のオレイン酸含量55%以上、鳥取県の名牛「気高」号の血統を引き継ぐもの」と設定した。
- 認定基準の設定を受け、鳥取和牛販売の推進母体である鳥取県牛肉販売協議会が新ブランドの名称を「鳥取和牛オレイン55」と命名し、流通体制の整備を進めているところ。
- このたび、情報発信活動を強化し、新ブランドの推進を図るため、都内高級レストランを会場として主要マスメディアに対する発表会を行う。

2 「鳥取和牛オレイン55」発表会について

鳥取和牛オレイン55発表会

鳥取和牛の新ブランド「鳥取和牛オレイン55」を2011年2月9日(イニク)の日に
タレントの石田純一氏を特別ゲストに迎えて発表会実施！！

- 日 時：2011年2月9日(水) 午後3時30分～5時00分 ※受付開始 午後3時
- 会 場：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ レストラン「ラ・プロヴァンス」
東京都港区海岸1-16-2 TEL 03-5404-7895
- 出席者：平井知事、石田純一、ホテルシェフ・ソムリエ 他
- 参集対象：料理・食の専門誌、一般雑誌、新聞、テレビ等マスメディア
- 主 催：鳥取県・鳥取県牛肉販売協議会
- 内 容：ホテルシェフ・ソムリエによる料理＆ワインの紹介
試食＆メニューの説明
ゲスト石田純一氏によるグルメトーク

鳥取県と鳥取県牛肉販売協議会の共催により、鳥取和牛の新ブランド「鳥取和牛オレイン55」の発表会を、2月9日(水)に開催する。

発表会では、芸能界でもグルメで有名なタレントの石田純一さんをゲストとして迎え、石田氏によるグルメトーク、「ラ・プロヴァンス」の料理長が開発した「鳥取和牛オレイン55」を使用した新メニューの試食を行う予定。

第31回全国豊かな海づくり大会の準備状況について

平成23年1月21日
全国豊かな海づくり大会推進課

1 開催日の決定

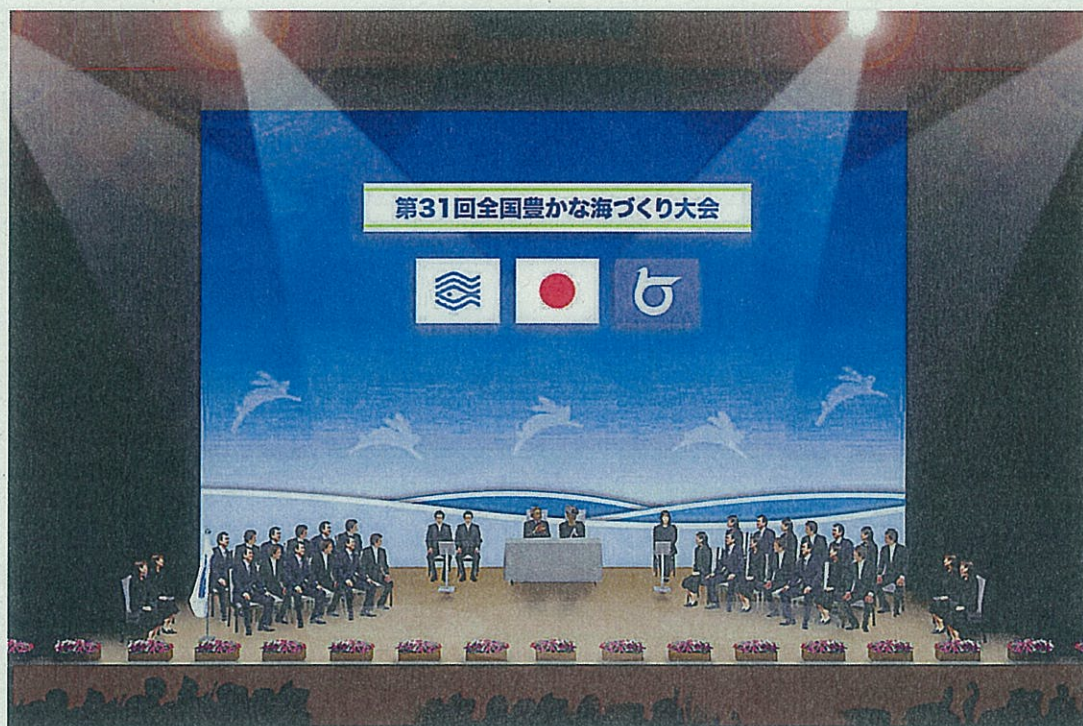
平成23年10月30日（日）
（歓迎レセプションは、前日の29日（土））

豊かな海づくり大会推進委員会との調整が整い開催日の決定がなされました。

2 第31回全国豊かな海づくり大会の行事計画について

平成22年12月27日（金）に、鳥取県立図書館で開催された第3回総会で承認された行事計画は以下のとおり。

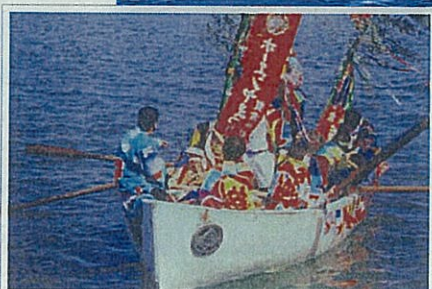
（1）式典行事（会場：とりぎん文化会館）



	演出	
	内容	出演者等
県紹介映像	<ul style="list-style-type: none"> ■五感で感じる鳥取県 ころ彩るとっとり路 ■見てわかる！ とっどりの農林水産物 	映像上映
プロローグ		
豊かな自然とめぐみ	<ul style="list-style-type: none"> ■映像により、鳥取県の自然、水産業、食のみやこ鳥取県を紹介 	映像上映
因幡の傘踊り	<ul style="list-style-type: none"> ■鳥取県を代表する芸能である「因幡の傘踊り」で来場者を歓迎 ■子どもが演技することで世代を超えて伝えられる「郷土を愛する心」を表現 	国府東小学校
美しきふるさと・鳥取	<ul style="list-style-type: none"> ■鳥取県ゆかりの唱歌「大黒さま」合唱 ■鳥取県のイメージ映像で「自然の循環」を表現 ■「白うさぎ大使」の子どもたちをナビゲーターとして活用 	鳥取市少年少女合唱団 白うさぎ大使
神話のふるさと・鳥取	<ul style="list-style-type: none"> ■「因幡の白うさぎ」映像紹介 ■ビジュアルインパクトのある「映像」の仕掛けと生ナレーションで神話の世界を表現 	映像上映
『白うさぎ大使』活動紹介	<ul style="list-style-type: none"> ■白うさぎ大使の子どもたちのナビゲートによる「白うさぎ大使」活動を映像で紹介 	映像上映
式典		
皇室御臨席	<ul style="list-style-type: none"> ■「威風堂々」を演奏 	鳥取県オーケストラ連盟
大会旗入場		先導：鳥取第一幼稚園 旗手：境港総合技術高等学校 受取：鳥取県議会議長
開会のことば		鳥取県漁業協同組合組合長
国歌斉唱		鳥取県オーケストラ連盟
あいさつ		大会会長（衆議院議長） 鳥取県知事
歓迎のことば		鳥取市長
表彰	<ul style="list-style-type: none"> ■功績団体及び作文、写真、絵画、習字コンクール入賞者の表彰 	各授与者、各受賞者
優秀作文発表		最優秀受賞者
『白うさぎ国造りメッセージ』の発信	<ul style="list-style-type: none"> ■白うさぎ大使が自ら具体的な活動を紹介 ■白うさぎ大使の合間に「貝殻節」をモチーフとした演出 ■「貝殻節」を演舞、合唱、歌詞を読み解いた朗読劇風のかけあいなどで多彩に表現 ■漁業後継者のメッセージ発信 	白うさぎ大使 気高中学校 鳥取市少年少女合唱団 県内の劇団、朗読の会 漁業後継者（夫妻）
大会決議		大会推進委員会会長
大会旗引継		鳥取県知事 沖縄県知事
次期開催地あいさつ		沖縄県知事
閉会のことば		鳥取市議会議長
皇室御退席	<ul style="list-style-type: none"> ■「ふるさと」を合唱 	鳥取市少年少女合唱団

式典補助員：鳥取商業高等学校

(2) 海上歓迎・放流行事 (会場：鳥取港西浜地区)



	演出	
	内容	出演者等
プロローグ		
郷土芸能		境港大漁太鼓荒神会
海上歓迎・放流行事		
皇室御到着	■「威風堂々」を演奏	鳥取西高等学校
海上パレード	■地元賀露にちなんだ伝統芸能により、両陛下・招待者を歓迎 ■全国有数の漁業基地である境港の大漁太鼓により、鳥取沖で操業する漁船8隻、官公庁船2隻が海上パレード(港外から入航し、湾内を巡回して港外へ) ■地元賀露神社に伝わるみこし海上行列(ホーエンヤ祭)の伝馬船を取り入れて、鳥取らしさを演出	浦安の舞 境港大漁太鼓荒神会 伝馬船 県内漁協所属漁船 海上保安庁巡視船 水産試験場試験船
お手渡し		受け：漁業後継者 介添：田後海洋少年団
御放流		介添：境港総合技術高等学校
皇室御出発	■「我は海の子」を演奏	鳥取西高等学校

(3) ふれあい交流行事 (会場：コカ・コーラウエストスポーツパーク)



会場		実施項目	内容	概要
コカ・コーラウエストスポーツパーク	屋内	企画展示エリア	海づくりゾーン	鳥取県の海や魚、水産業について紹介
			環境保全ゾーン	豊かな自然を後世に残すための取り組みを紹介
			鳥取PRゾーン	鳥取県の自然・文化、取り組みなどを紹介
		ステージエリア	ステージイベント	特色ある伝統芸能やトークショーを実施
	屋外	体験エリア	タッチングプール	魚にふれあう場の提供
			新・名物料理	「食のみやこ鳥取県」にふさわしい、県産の農林水産物を使用した名物料理の紹介・販売
			水産加工品	日本海有数の水産基地境漁港が誇る様々な水産加工品の試食・販売
			足湯	疲れを癒やすための足湯を設置
		食のみやこ鳥取県フェスタエリア	大地と海の恵みゾーン	農林水産物や加工品の紹介・販売
			鳥取の味ゾーン	郷土料理や食材の展示、試食、販売
ふるさと自慢ゾーン			地元グループによる名物料理、加工品等の販売	
イモコンエリア	特産品、加工品販売	イモコン鍋、ふるさとの味コーナー、自然のめぐみコーナー		